



一般社団法人 Ogaki Junior Board

## 大垣青年重役会

第46年度 研修旅行  
平成24年7月25日発行
<http://www.ojb.jp>

別冊

46th

## ひるば

## ●研修旅行を終えて

私にとって久しぶりの東京、39年度のOJB研修旅行以来か？楽しみな2日間でした。

『アルピオン』高級化粧品として、私もその名は知っていました。その理由は私の亡き祖母の愛用の化粧品だったからです。大正生まれの祖母は、近所でも一際お洒落な名物お婆さんでした。そんな歴史があり今尚若い世代にも高級化粧品として愛用されつづけている会社に非常に興味がありました。社長のみならず社員一丸となってお客様目線に立ったこだわりの商品を作り続けている姿勢に感動しました。夕食の『富麗華』のふかひれにも感動！六本木の夜は眠らない東京を体感し感動！一流ホテルの客室に感動！築地の活気に感動！東京スカイツリーの見上げるような高さに感動！感動の2日間でした。

企画して頂いた役員の方々に有難うございました。

栗田和幸

## ●研修旅行を終えて

まずもって、松本会長はじめ役員の方々、本当に一流に触れる旅を企画して下さいました。感謝いたします。

いくつもの感動が生まれた2日間でした。まず、アルピオンの小林社長のお人柄です。驚くほどの絶妙な笑顔と気配り。ご一緒にお食事をさせて頂き、不思議なほどに自然に相手の心に溶け込まれていく姿が印象的でした。これぞ！一流のサービス！といった感じでした。

年齢問わず魅了する女性たちなら誰もが知っている『アナ・スイ』化粧品を立ち上げられた小林社長とお話が出来ただけで大満足の研修でした。その上に、素晴らしいお土産まで頂き、家宝として大切にします！（笑）

そしてリッツ・カールトン。一流と言われるホテルはいくつもあると思いますが、ここまですべてを一流に完璧といった所は少ないと思います。眺望といい、インテリアといい空気といい。些細な事といえればそれだけのことですが、エレベーターで一緒した他の宿泊のお客様にも一流を感じました。何度エレベーターを利用して、いつも女性を先に降ろす男性客のスマートさ。その無言の微笑みにも一流を感じ、小林社長の微笑みとお言葉に重なりました。やはり、一流に触れる事で、一流が生まれるのだと痛感しました。あの『アナ・スイ』ブランドが生まれた感性もそこが原点だったのか…と。感動の時間をありがとうございました。

川瀬 由香

## ●研修旅行を終えて

アルピオン工場見学では、徹底した衛生管理と効率の良い動線や設えを目の当たりにし業種は違えどもお客様の五感に訴える商品を扱っている弊社としても「いつか工場を建てる時には…」と妄想が広がるくらい参考になりました。また、従業員さんの仕事・会社・商品に対する愛情と誇りが伝わってくる社風に少しでも近付けるよう、気持ちを正したいと思いました。小林社長におかれては明るくパワフルにご講演いただき「一流を知らなければ一流のものには作れない！」との言葉に共感をしました。懇親会では気さくにお話し頂きツーショット写真まで快くお付き合いいただけ妻への自慢のネタとなり感謝感謝のひとつでした。背筋の凍る裏話が聞けたのもお酒の席ならではの特典。

リッツカールトンでの宿泊…素晴らしい設えに感動でした！「どうせ寝るだけだから…」との声をよそに、OJB研修旅行の王道を貫いた会長の英断に拍手！！

こんなに早いタイミングで登れた東京スカイツリー…「ひと月前にこの展望デッキで永ちゃんが歌ったんだよね…」と感慨深く回り眺望と共に新築のにおいを体感できたのが何よりの収穫でした。まるで『美の壺』に出てきそうな設えの渋沢史料館では当時の人々の心憎いセンスの良さを感じることが出来ました。一流に触れた研修とギロップンの夜・築地市場・お台場 etc. ON/OFFメリハリの利いたOJBらしい内容に満足の二日間でした！有難うございました。

鳥居 清

## ●研修旅行を終えて

今回の旅行で一番印象に残っている言葉は昨年の「サーモン！」に続いて、藤井歴代の「何でも出来るような錯覚を覚えて少し怖くなって来る」です。スカイツリーの展望回廊にて、おっしゃられた言葉で、アルピオンさまの感動の経営を学び、格別のおもてなしを体験し、六本木の夜のうねりを感じた流れから、スカイツリーを作り上げた人間の力の凄さに驚きつつも、妻すぎる力に怖さを感じるといふようなご発言だったように思います。（違ったらすみません）全く私も同感で、山下達郎の名曲BOMBERの一節を借りると「金があれば太陽さえ掴むことが出来る都市さ」私の好きなこの曲が1978年のディスコでとても流行っていたことと、六本木の夜にまさかのディスコで踊りあかしたことが、決して偶然でないような気がしています。一流を経験した先に感じたもの、大切にしていきたいです。OJBの旅行でなくては有難くない！特別な旅行をありがとうございました。

吉田 大助

## ●旅行の感想文

アルピオン化粧品と聞いて、ピンとくるものはなかった。妻にも聞いてみたが良くは知らないし、周りの人もあまりよく知らなかった。であるからこそ、あまり期待感はなかったのである。ネットで売られている値段からしても、もっと高い物はたくさんあったしどうなんだ？というのが、訪れる前の印象である。

だが、工場見学をし社長の話を聞くにつれ納得がいった。認知度は広告宣伝費の差であり、それでも日本で一番の売り場で売上トップだということから驚きである。それだけ商品に手間隙・お金をかけているからこそその実績なんだろう。

また、社長の話の中で高級品を扱うという事は、相手は一流のお客様だと。だからこそ、お客様を知るためには何かしらの一流品に触れなければ、お客様を知ることは出来ない。というフレーズは今もなお鮮明に残る。

この会社のものなら安心だと思ひ、妻を連れて買いに行ったことは当然の成り行きかもしれない。（笑）

田口 明

## ●研修旅行初参加！

東京には会議でいつも行っていますが、高級ホテル・ダイバーシティ・スカイツリーなど、初めて体験する東京ばかりで、あらためてメトロポリス東京の巨大さ・日本の技術力の凄さを実感しました。

研修先のアルピオン様では食品工場を超える衛生管理のもと「夢を売る」為に、廃棄率5割の商品を製造していることに驚嘆しました。また夕食の席では渡辺部長とお話をさせていただける機会があり、なぜ中国の富裕層には販売しないのかをお聞きしたところ「先進国の成熟市場で販売しお客様に満足していただけないと、これからは生き残れないから」との答えに、小林社長の講演でお聞きした「一時的な売上を伸ばすことよりも市場を開拓するこ

高橋 卓哉

とを重視している」アルビオン社の強さを見た気がしました。

我々の食品業界も例に漏れず成熟産業ですが、今回の研修でいくつかヒントをいただきました。今回はこのような機会をいただき、アルビオン様をはじめ企画していただいた役員の方に感謝しています。ありがとうございました。

## ●「公の心」を知る旅

栗田 英優

渋沢栄一といえば…「論語と算盤」の著者で第一国立銀行創立をはじめ設立に関わった企業は500余。私の取引先の東京海上日動火災保険の設立にも関わった人。

そんなイメージしかありませんでしたが、渋沢資料館で改めて感じたこと。混沌とする現代社会でも、道徳感も同様に混沌としています。何が正しくて、何が間違っているのかの価値観も多種多様です。でも時代を超えて一番大事な事って普遍で、

「正しい道徳感に基づく富でない、長続きしない」

「自分だけ富を独占するのではなく、地域と共有するものと考え。地域に還元する」

これが根っこでしょうか？自分自身を振り返り猛省します。

また、アルビオン工場見学 / 社長講演では、企業誕生の原点に今一度戻り、企業理念を守りながら、手法は時代の変化に応じてどんどん変えていくチャレンジ姿勢が大事と学ばせていただきました。

そんな事を考え、今年度のスローガン「公の心を持ち、私業の本分を尽くそう！」を顧みると、今更ですが、よくよく理解できました。

お台場のガンダムのごとく、最初の理念を守りながらも新しいスタイルに挑戦し、永く愛される会社を目指します。ありがとうございました。

## ●研修旅行を終えて

寸田 敬介

東京駅に着いてドアを降りた瞬間から、熊谷の工場見学、銀座本社での小林社長さんの熱いお話、麻布十番「富麗華」での素敵な会食を終えバスが発車するその瞬間まで、アルビオンさんの究極のおもてなし『一流』を体感することができました。これこそが驚異的に成長し続けるアルビオンさんの魅力であり、他の大手メーカーさんでは持ちえない攻撃力でもあり防御力なんだと実感することができました。また、宿泊地である六本木の夜はとても素敵で、ディスコで皆さんと我を忘れて踊りまくり、過去なにかとお世話になっていたであろう？方々とご一緒できるお店を体験、映画の撮影で使用された有名な居酒屋さんでの反省会？など終始キラキラした時間を過ごすことができました。2日目もよく歩き、よく感動しました。個人的にはスカイツリーで偶然あるアーティストの方を拝見できたことが家内への自慢？土産話になりました。素晴らしい研修旅行を企画していただきありがとうございました。

## ●研修旅行

小川 真人

今回の研修旅行はハードなタイムスケジュールの中実内容の濃い旅行でした。アルビオン化粧品様の工場見学では商品クオリティのための清潔区域の徹底した管理はめをみはるものがありました。工場長の熱い情熱や、新商品開発でのロス意外な数字だったことなど、工場での生の声は勉強になりました。そして銀座本社ビルでの小林社長、前もって頂いていた本でのイメージどおりでした。終始満面の笑顔での公演のもと、抜群の行動力や新商品へのとりくみの姿勢、独特の感性のなかで会社を引っ張ってきたことがうかがえました。そして社員に「一流のものを何か身に付けろ」という言葉にはやはり一流のなかの一流のこだわりやプライドが、社員への意識レベルの向上にやくだっていることも感じました。夜の晩餐でも我々への最高のおもてなしで麻布の有名な中華にも感激しました。

個人的には2日目の築地は最高でした。なかなか行く機会がなくやっといけましたが、あまりの人のにおさに酔いました。昼食後のデザートに赤いシャリの寿司を6貫ぐらい食べてきましたが少し食べ過ぎだったです。

2日間大変有意義に過ごせました。あとアルビオン様との交流に大変ほねをおっていただいた会長いろいろとありがとうございました。

## ●研修旅行を振り返って

川瀬 知哉

今回の研修旅行では多くの貴重な体験ができ、多くの事を学ばせて頂ける大変有意義な研修旅行でした。アルビオン様の工場見学では、運搬、加工効率を非常に良く考えられた工場設計であること。人の肌に触れる商品であるということから工場内もクリーン度をエリア分けされており素晴らしい工場でした。人材教育にも力を入れられており、その結果が離職率の低さ、高い顧客満足度に繋がっていると感じました。不良率が50%の商品があると聞き非常に驚かされましたが、こんな商品を作りたいという夢を追求する企業の姿勢に感銘を受けました。社長様がどんな事があっても夢は諦めない、

お客様に感動を与える企業にしたいと仰っていましたが、私もその様な企業にしていきたいと思います。その他にもリッツカールトンでの宿泊、東京スカイツリーなど、一流に触れる機会を多く作って頂き、素晴らしい研修旅行に参加できたことに感謝しています。ありがとうございました。

## ●研修旅行を終えて

田端 隆

今回の研修旅行ではさまざまな体験をさせていただきました。まず初日のアルビオン様ではおもてなしの心得を体験させていただきました。我々が東京駅に着くなり既にお出迎えがあり、そのままバスまでご案内いただき、工場見学まで滞りなく進みました。もてなす相手にストレスを感じさせないという事を強く意識されていると感じました。そして銀座に戻りアルビオン小林社長のご講演と会食ですが、ここでもまた小林社長の考えや理念を強く感じました。製品にかける思いやお客様にかける思いを理解することが出来ました。1日を振り返るとアルビオン様の素晴らしさがわかると同時にそれ以上に当会の松本会長のご商売の素晴らしさを感じました。

「億SHOP」という単語がとても印象に残りました。宿泊先のリッツカールトンも流石のおもてなしで一流を体験できました。2日目は観光でしたが、今一番旬なスカイツリーを体験出来たことが一番の楽しみでした。

終日とても新鮮でまたメンバー同士の交流もとても深めることが出来た素晴らしい研修旅行でした。皆様本当にありがとうございました。

## ●研修旅行に参加して

足立 貴保

アルビオン化粧品小林社長のパワフルかつポジティブなお話しぶりや、自ら先頭に立ち行動するアグレッシブさには驚かされました。また、講演や質疑応答での意見や回答の内容が明確で、どんな質問に対してもレスポンスよく回答されることに、ブレない信念を感じました。

お話しの中で、社員の方との関係性が「話かけやすいことが良い」というシンプルな基準は、コミュニケーションの肝を感じた言葉でした。

営業販売、組織等あらゆるところでコミュニケーションが重要な役割を果たすということと同時に、言葉はあくまでもコミュニケーションツールであり、「こころ」が重要だということも再認識しました。

東日本震災での対応のお話しでは、社員の方からの嘆願メールがあったこと等、CSRというよりはもっと人間的な道徳的要素が強く感じられました。また、こういった対応は「道徳経済合一説」のような渋沢栄一の基本思想につながる部分があるようにも感じました。

最後に、今回の研修旅行に参加させて頂き、いつもより多くの会員の皆様と共に行動させて頂けたことは、とても勉強になりました。ありがとうございました。

## ●私は、今幸せです！

渡部 弘幸

ALBION 小林章一社長の講演冒頭の言葉は「私は、今幸せです！」だった。僕は、結婚式の披露宴の時くらいしか「私は、幸せだ」と断言する人をあまり見かけない気がするが、小林社長は「幸せです！」と満面の笑顔で断言された。

人にとっての「幸せ」とは何なのか。お金がある事なのか、仕事充実している事なのか、家族を含めた対人関係がうまくいっている事なのか。幸せの反対は不幸せなのか…ってことは中間の普通もあるのだろうか…

そもそも「幸せ」の定義はあるのだろうか…人は皆、幸せに豊かに生きたいと願うものだろう。幸せと不幸せは表裏一体か…「幸せ」になるにはどうしたらいいのか。幸せと不幸せは、人によって違うだろう。人により価値観、環境が違うからあたりまえである。

「幸せ」って、考えると難しい。怪我をした時や病気を患った時に、健康のありがたさに気付くように、不幸せになって初めて「幸せ」に気付くものかもしれない。僕も「私は、今幸せです！」と断言できるような人生を送りたい。強くそう思いました。

「幸せ」について考える機会を与えてくださった小林社長さま、そして松本会長、今旅行に携わった役員の皆様、大変お世話になりました。心から「ありがとうございました」と言いたいです。

## ●研修旅行を終えて思う事

藤井 重雄

商売の関わり方で私の好きな言葉が二つあり、その一つに「三方よし」がある。「売り手よし、買い手よし、世間よし」といった近江商人の活動理念であります。

株式会社アルビオンの社長を含め全社員は自社の「高級化粧品」に自信を持ち、責任を持ち、「店」との共存共栄を目指している。特に自社の商品の位置づけを考察する小林社長は常に真剣で、時に大ナタを振り、社員を鼓舞する。

“三方よし”の考えは当然売り手と買い手だけでなく、その取引が社会全体を利することを求めているが、小林社長のお話を拝聴しそのようなサイクルになる為の「自信」と「改革」の重要性を教授して頂きました。

そして好きな言葉のもう一つが“自利利他”という言葉であります。正に「自らを生かし、他者を生かす。」

こちらはさしずめ自分が活きた事をしているということが、結局他者を生かすことであるという考え方だったと思います。

「論語と算盤」で著名な渋沢栄一氏の資料館にはまさに自らを活かし、他者を活かし、黎明期の日本社会を生かした、氏の熱い生き様を肌を感じる事ができる素晴らしい所でした。今回は駆け足でしたが「晩香廬」や「青淵文庫」といった建物や庭園を次回はゆっくり散策し、その時代の息吹に浸ってみたいものであります。

結びとして、今回の研修旅行において今期のスローガンである“公の心を持ち、私業の自分を尽くそう！”を意識し、研修できたことは旅行に対する会長の熱い思いの現れであり、関係役員のご配慮の賜物であったと熱く感謝を申し上げ、筆を置かせていただきます。

## ●パリ、それから

大角 勇雄

銀座アルビオン化粧品での研修会に参加する前、少し時間があつたので、日本橋みずほ銀行兜町支店に立ち寄り。「わが国の銀行発祥の地」がここ。いわゆる第一国立銀行である。初代頭取は渋沢栄一。

渋沢栄一が、欧州先進国の見聞のためフランスへ渡ったのが1867年、パリ万博の時。当時27歳。アルビオンの小林社長が、これまでの人生で一番苦労したというパリ滞在もその年齢という。大きな夢を抱き、先を読む心を養うため渡欧した点で共通している。

松本会長のお母様に、私が初めてお会いしたのは、もう20年前のこと。大垣専門店(現：わくわく西美濃)の新年会の席で、アルビオン化粧品の将来性について熱弁されていた。アルビオンの未来を語る小林社長と重なり、その時のことが鮮明に思い出される。

リッツ・カールトン東京のバーで、セカンド・ドリンクを思案していると、ラウンジスタッフの福島さんが、メニューにはないフレンチ・ベルモットのドライ・マティーニを勧めてくれた。その辛さが、懇親会の中国料理店「富麗華」の紹興酒を胃で中和する。それにしても、福島さんは、私が、先の「富麗華」で、仏語で乾杯したことを知る由もない。リッツ・カールトンのクレドに、「お客様のニーズを先読みしておたえします」とある。小林社長、渋沢栄一、そして、松本会長家もそうである。私もそうありたいと思う第46年度の研修旅行であった。

## ●健習旅行

栗田 一美

先ず初めに今回お世話になりました松本会長を始めとする役員の皆様方、又JTB山下様には心から感謝申し上げます。

さて、(株)アルビオン社長小林章様のご講演並びにお食事会にてその人間味溢れる言葉と経営姿勢に多々感銘をお受けしました。企業トップとしての資質を1つでも学び生かされます様に努力いたします。

憧れのスカイツリーと共に隅田水族館まで見学できまして心底癒されました(笑)。

そして、高級中華料理と築地こだわり寿司グルメにも大満足出来ました。

最後になりますが、当会への参加も卒業生の立場ながら遠慮することなく同席して誠に申し訳ないと思ひます。

若い会員様の素晴らしい感性(エキス)をたっぷり戴きまして、またまた元気ができました。どんな栄養剤より有効です!

「ありがとうございました」オールメンバーにお見事コール!!

-失礼いたしました-

## ●一流を学んだ研修旅行

小川 智宏

OJBに入会して、初めて研修旅行に参加させていただき、沢山の思い出と共に充実した研修をさせていただきました。

一日目、アルビオン熊谷工場視察・アルビオン本社で小林社長のご講演を賜り、高級化粧品アルビオンがなぜ一流なのか理解する事が出来ました。環境・品質・生産において妥協無きシステムが構築された工場であり、小林社長からは実行してきた数々のイノベーションを拝聴出来、大変貴重な時間を過ごす事が出来ました。

そして宿泊先のザ・リッツ・カールトン東京では、まるで自分が成功者になった感覚に陥る空間を堪能出来、地上二百メートル超から眺める夜景は贅沢の極みを味わう事が出来ました。

二日目、渋沢資料館では日本を代表する経済人、渋沢栄一の生涯を学ぶ事が出来、昼食で訪れた日本一の市場“築地”からは、日本の主台所を肌で感じる事が出来ました。

そしてなんとこちらもオープンから一ヶ月程の時期に東京スカイツリーに登れた事は本当に幸せでした。展望回廊から眺めた景色は一生忘れません。

最後になりましたが、松本会長、北野幹事長には、大変素晴らしい行程を組んで頂いた事に感謝しております。また、旅行に参加された会員の皆様には大変お世話になりました。有難う御座いました。

## ●小林社長の講演をお聞きして

中島 繁樹

小林社長の講演では人間力を上げるため、アイデア・発想をうまく拾うアンテナを張り巡らせるために、出来る範囲の中で一流といわれるものに触れること、また、学ぼうとする姿勢がとても重要であることを教えていただいた。

また、管理職の資質としてはある程度?！仕事が出来るとは当たり前だが、話しかけやすい(話しかけられやすい)人が適任であるようだ。それは、上からも下からも意見や情報が入ることで、それらをまとめ、情報の共有化(共通認識化)がしやすいためであるようだ。

そのような点では、自分にはコミュニケーション能力が不足していて、家族ですら情報の共有化が出来ていないことをあらためて感じた。今後の解決すべき課題である。

会社を発展させていく上で、一生懸命やったことで失敗しても、それを許容する文化も必要であるようだ。会社の発展と継続の両立のために人のやりがいや達成感を味わえる「人を育てる文化」も必要であることも学んだ。しかし我々では、ひとつの過ちが命取りになることが多々あり、より一層慎重に行動しながらも、やりがいや達成感を味わえるように努力していきたいと思った。

大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

## ●一流な研修

奥田 祐太郎

今回初めて大垣青年重役会の研修旅行に参加させてもらい、たくさんの事を研修させていただく事が出来ました。まさに多岐にわたる事について学び、いざ文面にするにあたって困るほどであります。アルビオンさんを通して研修した事、2日間を通して深めた絆、東京という最先端の街を通して感じた事、ザ・リッツカールトンホテルでの最高のおもてなし、たったの2日間ではあつたが、本当に充実した研修が出来たと思います。

私も工場を営んでおりますので、化粧品の工場がどのようなものなのかとても興味深く見学させて頂きました。まずは工場長さんをはじめ幹部の方絡みで迎えられ、丁寧にアルビオンの歴史、工場の事、商品の事について説明を受けその最大限のおもてなしと同時に、皆さんがとても誇らしげであることに感激し、その後工場の中を拝見して、アルビオン化粧品は最高級品であることに納得しました。

工場の中はとて整然とし清潔で、さすが大企業の工場といった感じでしたが驚いたのは人の多さ。もっと産業ロボットが入り機械的に生産されているのかと思いきや、人の手によって作られ梱包されていく商品を見て最高級を確信し経営者の思いを聞きたいと思いました。

銀座の本社での小林社長の講演は、その日見て体験した事象のように満面の笑みで聴く者の興味を一心に集め、それでいて「幹部従業員には狂ったように本気で怒る」という言葉に込められた、物事に取り組む社長の一本筋の通ったぶれない経営を感じました。

その後訪れた六本木の中華料理、宿泊したザ・リッツカールトンホテル、スカイツリーと共通して一流である事、人への思いやりこそが人を寄せ付ける最大のおもてなしである事を学びました。今回このような素晴らしい企画をしてくださった執行部の皆様、そして2日間お世話をしてくださった皆様には感謝いたします。

## ●熱い思い

江森 正

私は、いただいた本を読むまで、正直アルビオンという会社を全く知りませんでした。本を読んでいくと、大変すばらしい会社であることが、分かり小林社長にお会いできるのが、非常に楽しみでした。小林社長の講演のお話の中で、もっとも印象深かったのは、大変熱い思いで、笑顔で何事にも取り組んでいらっしゃる所でした。商品については、世の中に無い化粧品を作り、お客様を感動させるという会社の経営理念に沿って、全社一丸となつて、取り組まれており、決してあきらめない。出来る為にはどうしたらいいのかを社員にも浸透されていて、チャレンジ精神、あきらめない精神が社員一人一人に見受けられました。経営においも、商品の種類を減らす、販売店を減らす等、世の中では中々できない事を、断行されていました。売上金額重視ではなく、まずお客様に喜んでいただいた結果が、利益に繋がればよい、というお考えには、大変衝撃的でした。そして人対人大変重視されており、社員にも研修等しっかりと教育されていらっしゃいました。商品、規模などは、参考にする事はなかなかできませんが、この人対人についての考え方については、非常に参考にする事ができると思ひました。今回は大変すばらしい研修をすることができました。小林社長、アルビオン社員の皆様有難うございました。

## ●本当のおもてなし

西野 英乙

今回の研修旅行に参加させて頂き、おもてなしという言葉の意味を改めて深くお教え頂きました。

アルピオンの工場見学に始まり、小林社長のセミナー、会食と初日の工程を進めるに当たり、内容も勿論、ご準備頂いたアルピオン様の細かい気配りに感動をいたしました。

特に小林社長の徹底した対応には頭が下がる思いでした。私より何百倍も大きな企業のトップで在りながら会食の席での身のこなしや、最後私達が乗ったバスをお見送りするまで、素晴らしい対応でした。

自分もサービス業を営む人間として、仕事に対してまだまだ決心が出来ていない甘さを痛感致しました。

また、小林社長の話の中にあつた一流と接する機会として、リッツカールトンホテルやスカイツリーは自分の価値観を改めて高める良い機会となりました。

参加させて頂き、本当に感謝をしています。ありがとうございました。

## ●幸せの研修旅行

安田 佑次

今回、1泊2日の2日間という短い旅行でしたが、非常に濃密で有意義な時間をすごさせて頂きました。

初日、アルピオン様。小林社長の「私は今幸せなんです」の一言がすごく印象に残り、また、その一言がアルピオンという会社の素晴らしさを物語っているのではないかと、そう感じさせられました。

また、失敗してもいいから新しい素晴らしいものを作っていこうといった社長の気持ちにこたえるかのように活き活きと働いてらっしゃる。そんな印象を受けました。

食事も終わりO J Bらしい楽しい夜を過ごさせて頂きました。

2日目、渋沢資料館にて渋沢栄一という人物の偉大さにふれ、築地にて空腹をみたしていざ上った東京スカイツリー。衝撃的な高さを見たことのない世界が広がっておりまして。まさに大垣青年重役会ならではの、普段経験することのできない素晴らしい旅行を体験することができました。

初日、素晴らしい1日をご用意くださったアルピオン小林社長、社員の皆様方、時間を一緒に過ごしていただいた栗田先輩、三輪先輩、そして松本会長はじめ2日間ご一緒くださった会員の皆様、本当にありがとうございました。

## ●一流に触れる旅行

佐竹 紀皇

アルピオンの工場見学から始まり、アルピオン本社での小林章一社長の大変貴重な講演、その後の麻布十番「富麗華」でのおいしい食事、六本木での楽しい夜（ちょっとはしゃぎすぎたかも）、そしてザ・リッツ・カールトンホテルでの一流を感じられる宿泊。一日目だけでも充実した内容でした。

私は、都合でアルピオン本社からの合流になりましたが、他の旅行参加の皆さんの話を聞いて工場見学に行けなかったのは、本当に残念でした。アルピオンの小林社長の講演のなかで、人生95パーセント失敗の連続であり、何事も失敗を恐れず、やってみることが大事なことであることを学びました。また、アルピオン様は、専門性・高級品で勝負するという一方で、高級品を買う人は、それなりの人であるので、なるべく社員にも一流にふれる機会をつくり、商品とサービスを学ばせているとのことでした。その後のアルピオン様との食事で、一流料理を味わいその心に少しふれることができました。

とにかく、今回の旅行は、一流を感じる旅行でした。これもすべて松本会長、そしてアルピオン様のおかげです。本当に感謝しております。ありがとうございました。

## ●第46年度 研修旅行 感想文

浅野 信哉

1. 東京行きの新幹線で、岐阜羽島から東京までのほぼ2時間半、ずっと話を聞かせていただいた藤井歴代。絶えることのない話題、更にはその内容の濃さには、毎回尊敬の念で満たされます。

1. 本で読ませていただいた「小林社長の思い」が、熊谷工場の皆様に深く浸透していることより感じました。小林社長にお会いする前だったので、身体中、ワクワクで満たされました。

1. 本社会議室にて、小林社長の講義を拝聴させて頂きました。本に書かれていた「笑顔」の意味を納得。何と言っても「私は、幸せです！」の一言には参りました。先代からの理念を踏襲しつつ、ご自身の思いを強く抱き、邁進する姿に感動の思いで満たされました。

1. 夜の食事。小林社長ご推薦のお店「富麗華」。料理の内容は言うまでもなく、サービスを提供くださったスタッフ皆様の心配りは、一流を感じました。

小林社長が我々に対し、タイミングよく「飲み物いいですか?」「食事はいかがですか?」と聞かれるお姿は、まさに、おもてなしの心。

その心を最大限に生かすよう、一流のスタッフだからこそなされる「間」の取り方。出過ぎず劣らず、安心感が満たされました。

1. 眠らない東京。六本木。VIPが訪れたという、お店にご一緒させて頂きました。魅力ある空間にO J Bの仲間と身をおける喜びに満たされました。

1. モノを作ることに係る仕事、しかも建築に携わる者として、東京スカイツリーなる産物には驚きで満たされました。

1. 旅行中、常に行程を管理し、滞りなく計画通り進めていただいた北野幹事長。いつもニコニコ笑顔の奥に我々には感じさせない苦労を隠していたに違いない。スカイツリーでは第二展望台入場のチケット争奪じゃんけん大会(5人)でわざと負けていただいたとお聞きし、感謝の思いで満たされました。

1. 帰りの新幹線、確か「ひかり523」17:33発 新大阪行き。隣は何故か行きと同じ藤井歴代。またまた、2時間半の講演と思いきや駅弁終了と同時に夢の世界へ。

少し、拍子ぬけ感を抱きつつ、周りを見れば半数以上が夢の中。何故だか、幸福感で満たされました。

思い出を、箇条書きに8項目にしました。どの項目が、一番か決めようとしましたが、決まらないので、すべて「1」としました。

皆様、ありがとうございました。

## ●皆様に感謝

平野 宏司

まずはアルピオン社長の小林様はじめ皆様、ザ・リッツ・カールトン東京の皆様(特にフクシマさん)、JTBの山下様、その他大勢の方々にお礼申し上げます。

松本会長、素晴らしい機会をありがとうございました。参加者全員を幸せにする力はさすが大将の器の大きさ、深さ。恐れ入りました。栗田一美さん、いらっしゃるだけで締め、そして和みました。三輪さん、登場とともに一団がパッと三輪さんモードに。藤井さん、明るく真面目な姿はいつも勉強になります。大角さん、栗田和幸さん、ディナーでは先輩の品格と風格。渡部さん、佐竹さん、川瀬由香さん、大人の所作は憧れです。高橋さん、栗田英優さん、仕事のできるお二人が何を学ばれたのか気になります。西野さん、奥田さん、小川真人さん、江森さん、盛り上げ方と突っ込み方は天才的です。吉田さん、安田さん、田口さん、足立さん、中島さん、冷静に判断しつつ、雰囲気を楽しむ余裕もありでスゴイ。近沢さん、場面での段取りが抜群。田端さん、寸田さん、いつも周りを気かけ、団体になくはない方々。鳥居さん、川瀬知哉さん、おしゃれ番長達と夜ご一緒できず残念。松田さん、卵焼き屋からの無事帰還はあなたのおかげです。小川智宏さん、終始緊張の写真担当お疲れ様でした。浅野さん、素晴らしいお礼の言葉、勉強になりました。井納さん、お見送りに感謝。そして北野さん、会長の思いをしっかりと受け止めつつ、こんな多彩な方々をまとめられたのはさすが幹事長。あらためて皆様に礼申し上げます。また連れてって下さいね。

## ●「感動」「一流」～第46年度研修旅行を終えて～

松本 正平

研修旅行を終えた今、振り返る思い出はまぶしいばかりで、祭りの後の心境状態が抜けません。第46年度の会長をさせて頂いたことで最も幸せなことは、この旅行を企画できたことかもしれません。今回の旅行は全部私が行きたいところで決めさせて頂いたからです。それ故出席された30名の会員の方々が少しでも不満があるとすれば、それはすべて私の責任であります。いかがだったのでしょうか。

アルピオンの素晴らしさはトップの考えを社員が納得して実践していることです。バスの中でアルピオンの概略を語った渡辺営業部長然り、50%の廃棄率を出しても最高の化粧品を作るんだと言う工場長然りです。そして、この素晴らしい会社を率いる今年度最も聞いたかった小林社長の講演では、事前に「感動に不況はない」を読んでいること前提でのお話でした。最高の化粧品を作る情熱と、社員から話し易い雰囲気を持つものが管理者として相応しいと言い切る、社内での徹底したコミュニケーションの向上に尽力されているとお話でした。その後御馳走になりました懇親会では、食事する時間が無いほど会員との名刺交換に時間を割いた小林社長の姿がありました。一流の料理と一流のおもてなしを研修させて頂きました。アルピオンの皆様には本当に世話になりました。心より御礼申し上げます。

リッツカールトン東京での宿泊から、渋沢資料館、築地市場、お台場(ガンダム)、東京スカイツリーと、2日目のタイトなスケジュールはすべて私のわがままです。そのわがまを具体化してまとめ上げた北野幹事長とJTBの山下さんには大変感謝しています。ありがとうございました。